

## 平成30年度予算説明書

予算			目名	予算書(P)
款	項	目		
2	1	2	財政管理費	52

部局名	経営部
課名	経営改善課

### I : 事業概要

施策事業名	財政管理
事業目的	将来に渡り、限られた財源の中で効率的、効果的な行政サービスを提供する。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>●財政管理                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・普通旅費（愛知県庁への出張等）：42千円</li> <li>・消耗品費（参考書籍、コピー用紙、プリンタトナー等）：135千円</li> <li>・印刷製本費（平成31年度当初予算書）：551千円</li> </ul> </li> <li>●公会計                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・財務書類作成支援業務委託料：2,992千円 新公会計制度に基づく「総務省基準モデル」での財務書類の作成支援（公認会計士又は同等の専門的知識を有する者の支援）</li> <li>・公会計等支援システム使用料：6,654千円（平成30年度までの5年間の契約） 財務書類の作成に係る情報管理、支援システム（外部サーバによるクラウドシステム）</li> </ul> </li> </ul>
事業の目標・計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>●財政管理：毎会計年度の予算を調製し、議案として製本する。</li> <li>●公会計：国の要請に基づき、平成29年度決算における財務諸表（貸借対照表・資金収支計算書・行政コスト計算書・純資産変動計算書）と固定資産台帳の整備（管理）を行う。</li> </ul>

### II : 個別事業内訳

（単位：千円）

事業名	予算額	財源内訳				一般財源の割合
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
財政管理	728	0	0	0	728	100%
公会計	9,646	0	0	0	9,646	100%
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
合計	10,374	0	0	0	10,374	100%

## 平成30年度予算説明書

予算			目名	予算書(P)
款	項	目		
2	1	2	財政管理費	52

部局名	経営部
課名	経営改善課

### I : 事業概要

施策事業名	財政調整基金等
事業目的	財政調整基金と減債基金への積み立てを行う。
事業内容	<p>●財政調整基金 年度間における財源の不均衡を調整するほか、経済情勢の変動等により市税収入が著しく減少した場合、あるいは、災害による減収や復興に要する臨時的な対応への備えとして活用（財源として繰り入れ）する。なお、決算剰余金や補正予算に応じて決算額は大きく変動するが、当初予算としては利息相当額のみとなる。 積立金計上額：234千円（平成29年度末時点残高：約18億円）</p> <p>●減債基金 市場公募債を発行する場合には用途が限定されたこの基金への積み立てが想定されるが、当該市債を発行する予定はない。 積立金計上額：1千円（平成29年度末時点残高：約76万円）</p>
事業の目標・計画	<p>●財政調整基金：一般的に当該地方公共団体における標準財政規模の10%程度の額（当市であれば約14億円）を「常時」確保することが望ましいとされる。本説明書の作成時点における平成29年度末の残高見込みは約18億円であるが、平成30年度当初予算への繰入後は13億円に減少する。財源として活用する事業の実施や市債の発行などとのバランスを勘案しながら積み立てを行う。</p> <p>●減債基金：活用の予定はないため、最低限の管理として利息の積み立てのみを行う。</p>

### II : 個別事業内訳

（単位：千円）

事業名	予算額	財源内訳				一般財源の割合
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
財政調整基金積立金	234	0	0	234	0	0%
減債基金積立金	1	0	0	1	0	0%
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
合計	235	0	0	235	0	0%

平成30年度予算説明書

予算			目名	予算書(P)
款	項	目		
2	1	3	財産管理費	52

部局名	経営部
課名	経営改善課

I：事業概要

施策事業名	公有財産マネジメント
事業目的	普通財産を適正に維持管理し管理コストを抑制、行政目的がなく不用となった土地の有効活用・売却の検討を行い財源確保を図る。売却益は公共施設等管理基金に積み立て、公共施設等総合管理計画に基づく公共施設マネジメントを推進する。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>●主な事業内容                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・普通財産の維持管理（財産異動報告書の処理、台帳の更新、財産に関する調書の作成、除草業務の発注・管理、貸付事務、苦情対応、境界立会い）</li> <li>・行政目的がなく不用となった土地の有効活用及び売却の検討とそれに伴う事務手続き</li> </ul> </li> <li>●売却を予定している土地                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年度：と畜場跡地、日の出住宅浄化槽跡地の一部、市営小弓ヶ丘住宅跡地</li> </ul> </li> <li>●主な予算内訳－平成30年度分                             <ul style="list-style-type: none"> <li>【普通財産管理：（維持管理分：1,051千円、売却分：6,649千円）】</li> <li>・電気料金（旧天神污水处理場）：24千円、火災保険料（天神町集会場 外3）：15千円、市有地除草委託料（と畜場跡地 外）：712千円、営繕工事費：300千円、土地鑑定評価委託料（市営小弓ヶ丘住宅跡地、と畜場跡地、日の出住宅浄化槽跡地の一部）：883千円、インターネットオークション手数料：5,766千円（市営小弓ヶ丘住宅跡地、と畜場跡地、日の出住宅浄化槽跡地の一部）</li> <li>【公共施設等管理基金積立金：198,102千円】</li> <li>・基金運用利息積立：156千円、使用料収入等の一部積立：20,000千円、不動産売払収入分積立：177,946千円</li> </ul> </li> <li>●課題と今後の方向性                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・現在、遊休地となっている普通財産については、積極的に売却する方針で進めている。今後は、行政財産の敷地の一部などの活用まで視野に入れ、民間企業へのサウンディング（可能性調査）を実施し、さらなる財源確保を図る。</li> </ul> </li> </ul>
事業の目標・計画	普通財産を適正に維持管理し管理コストを抑制、行政目的がなく不用となった土地の有効活用・売却の検討を行い財源確保を図る。売却益は公共施設等管理基金に積み立て、公共施設等総合管理計画に基づく公共施設マネジメントを推進する。

II：個別事業内訳

（単位：千円）

事業名	予算額	財源内訳				一般財源の割合
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
公有財産マネジメント	7,965	0	0	0	7,965	100%
公共施設等管理基金積立金	198,102	0	0	157	197,945	100%
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
合計	206,067	0	0	157	205,910	100%

平成30年度予算説明書

予算			目名	予算書(P)
款	項	目		
2	1	3	財産管理費	52

部局名	経営部
課名	経営改善課

I：事業概要

施策事業名	監理検査
事業目的	入札、契約、検査事務を円滑に進め、公平で透明性の高い契約により適正な予算執行を行う。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>●全体計画 通年で、工事等の入札、契約、検査事務を適切に行うとともに、更なる適正化と効率化を図る。</li> <li>●主な事業内容 <ul style="list-style-type: none"> <li>・設計金額130万円以上の工事に係る電子入札事務</li> <li>・物品および委託等の電子入札事務</li> <li>・予定価格1,000万円を超える入札に係る入札契約審査会の事務</li> <li>・契約に関する規則・要綱に関すること</li> <li>・入札参加資格申請に関すること</li> <li>・小規模工事等契約希望者登録に関すること</li> <li>・公正で公平でかつ競争性のある入札を執行するため入札契約事務の見直しに関すること</li> <li>・工事検査に関すること</li> </ul> </li> <li>●予算内訳 <ul style="list-style-type: none"> <li>・普通旅費 23千円</li> <li>・消耗品費（建通新聞購読料） 83千円</li> <li>・コリンズ・テクリスシステム使用料 22千円</li> </ul> </li> </ul>
事業の目標・計画	入札における十分な競争性を確保し、契約内容が適切に履行されるよう監督、検査事務を強化することで、提供される役務等における品質の均一化とレベルアップを目指す。

II：個別事業内訳

(単位：千円)

事業名	予算額	財源内訳				一般財源の割合
		国庫支出金	地方債	その他	一般財源	
監理検査	128	0	0	0	128	100%
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
合計	128	0	0	0	128	100%

平成30年度予算説明書

予算			目名	予算書(P)
款	項	目		
2	1	13	ふるさと納税推進費	67

部局名	経営部
課名	経営改善課

I：事業概要

施策事業名	ふるさと犬山応援寄附金
事業目的	ふるさと納税により犬山市へご寄附頂いた方へ記念品を贈呈するなどして、寄附金の増加を図ること で、自主財源の確保をするとともに、本市と市内事業者のPRのほか、消費を伴う産業の活性化を図 る。 (毎年1～12月の寄附を翌年度の事業に充当)
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>●市外からのふるさと納税に対し、記念品の贈呈・インターネット申込み・カード決済等を実施。</li> <li>●返礼品贈呈は寄附拡大の他、市内産業の振興・PR等の側面も有している。</li> <li>●使い道は9つ(歴史・文化、産業、子育て、福祉、教育、健康、環境、都市基盤、市長にお任せ)</li> <li>●特定の事業を対象として寄附を募るガバメントクラウドファンディング(GCF)も実施。</li> <li>●寄附金は基金に積立て、寄附者の意向に沿う事業の財源として1～12月までの寄附を翌年度の予算 に充当。             <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業費の内訳 報償費 170,100千円</li> <li>                  需用費 382千円(消耗品費、印刷製本費)</li> <li>                  役務費 6,012千円(通信運搬費、広告料、手数料)</li> <li>                  委託料 14,880千円(楽天ふるさと納税サイト、管理システム機能改善)</li> <li>                  使用料 1,041千円(ふるさとチョイス申し込みフォーム、管理システム)</li> <li>                  積立金 450,000千円(※寄附金想定と同額)</li> </ul> </li> <li>・GCFの実績             <ul style="list-style-type: none"> <li>東之宮古墳整備事業(平成29年度実施) 寄附額 565千円</li> <li>木曾川うかい(平成29年度実施) 寄附額 805千円</li> <li>木曾川うかい(平成28年度実施) 寄附額 2,040千円</li> </ul> </li> <li>・寄附金額の実績と目標             <ul style="list-style-type: none"> <li>&lt;目標&gt;平成30年度：450,000千円</li> <li>&lt;実績&gt;平成29年度(1月末時点)：375,120千円</li> <li>          平成28年度：148,221千円</li> <li>          平成27年度：69,492千円</li> </ul> </li> </ul>
事業の 目標・計画	平成29年度の寄附受入額を上回る4億5千万円の寄附額を目指す。 目標を達成するための計画として、魅力的な記念品の発掘又は充実、新たな申し込みチャンネルや効 果的なPR手法などの研究を進め、寄附件数(金額)維持のための施策を継続的に行う。また、適切 で安定した事務処理のため、増大する寄附申込件数に対応するための体制構築を委託(費用対効果) を含めて検討する。

II：個別事業内訳

(単位：千円)

事業名	予算額	財源内訳				一般財源 の割合
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
ふるさと納税推進	192,415	0	0	252	192,163	100%
ふるさと犬山応援基金積立金	450,000	0	0	450,000	0	0%
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
合計	642,415	0	0	450,252	192,163	30%

平成30年度予算説明書

予算			目名	予算書(P)
款	項	目		
11	1	1・2	元金・利子	208

部局名	経営部
課名	経営改善課

I：事業概要

施策事業名	公債費
事業目的	借入金を返済する。
事業内容	<p>●事業目的に同じ</p> <p>○参考 平成30年度見込額（一般会計）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・償還元金 2,050,263千円</li> <li>・償還利子 118,992千円</li> <li>・市債残高 19,731,907千円（年度当初時点）</li> </ul> <p>（平成29年度中の借り入れを1,464,961千円と想定 ※事業費や補助金額等により変動）</p>
事業の目標・計画	<p>●歳出（公債費）として 約定の期日に滞りなく返済する。</p> <p>●歳入（市債）として 借入残高を減少（年度中における元金の返済額が借入額を上回る）させるため、市債の発行（借り入れ）を抑制するとともに、対象事業の選定にあたっては、国の財政措置により後年の負担が軽減されるものを優先する。なお、実際の借り入れに際しては、期間や規模、借入先について、少しでも有利な条件を設定する。また、低利借り換えについて随時の検討を行う。</p>

II：個別事業内訳

（単位：千円）

事業名	予算額	財源内訳				一般財源の割合
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
市債償還元金	2,050,263	0	0	0	2,050,263	100%
市債利子	118,992	0	0	0	118,992	100%
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
合計	2,169,255	0	0	0	2,169,255	100%

平成30年度予算説明書

予算			目名	予算書(P)
款	項	目		
12	1	1	土地取得費	209

部局名	経営部
課名	経営改善課

I：事業概要

施策事業名	普通財産取得費
事業目的	普通財産として土地を取得する。
事業内容	事業内容に同じ（事業実施の予定がないため、頭出しのみの計上）
事業の 目標・計画	事業実施の予定なし

II：個別事業内訳

(単位：千円)

事業名	予算額	財源内訳				一般財源 の割合
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
土地取得費	1	0	0	0	1	100%
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
合計	1	0	0	0	1	100%

平成30年度予算説明書

予算			目名	予算書(P)
款	項	目		
13	1	1	予備費	209

部局名	経営部
課名	経営改善課

I：事業概要

施策事業名	予備費
事業目的	予算計上のない支出や予算を超過した支出の財源とする。
事業内容	事業目的に同じ
事業の 目標・計画	近年の実績では、災害復旧や施設設備の故障等に対応するための財源としての活用（充用）を行っている。予算編成における各所管各費目への予算配分は、限られた財源を必要最低限で行っており、補正予算や予算流用では対応が困難な緊急の財政需要に備える。

II：個別事業内訳

(単位：千円)

事業名	予算額	財源内訳				一般財源 の割合
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
予備費	30,000	0	0	0	30,000	100%
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
合計	30,000	0	0	0	30,000	100%